

長期で見る東京ガス

ガス利用の歴史



原料の歴史



石炭
石炭をコークス炉で高温加熱し乾留させてガスを製造

石油
原油などを高温で熱分解しガスを製造

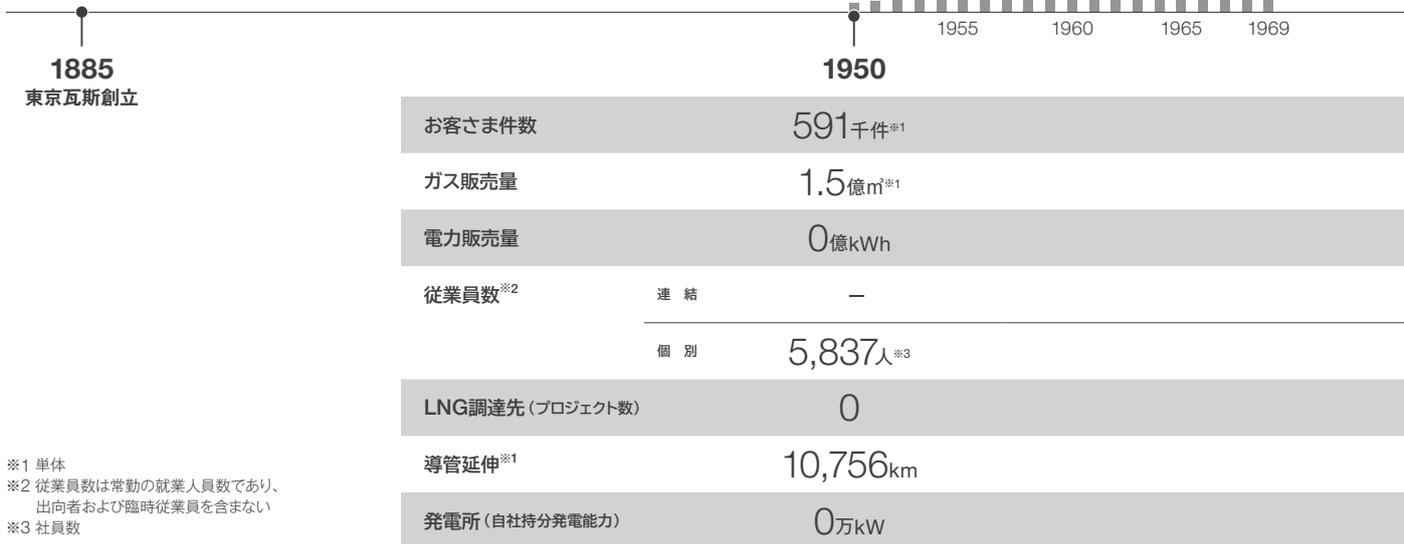
天然ガス
1972-1988 熱量変更作業

これまで、これからも「エネルギー・フロンティア」として成長を続けていきます

東京ガスグループは約130年にわたり、ガスの安定供給を通じて、経済発展と豊かな暮らしを支えるとともに、当社自身の企業価値創造を実現してきました。電力・ガスの小売が全面自由化されましたが、電力・ガスを含めて、最適なエネルギーシステムをセットで提案・供給できる「機会」と捉え、引き続き非連続の改革（これまでになく大胆な事業改革・抜本的な組織構造改革）を進めつつ、「できること」として具体的に新たな価値を創造＝東京ガスグループならではの“GPS×G”を展開し、2020年代の発展・飛躍を確実なものにしていきます。



※お客さま件数・ガス販売量ともに2002年度までは単体、2003年度以降は連結の数字



※1 単体
※2 従業員数は常勤の就業人員数であり、出向者および臨時従業員を含まない
※3 社員数

蔵前国技館
初のガス冷暖房システム



旧新宿地域
冷暖房センター



天然ガス
コージェネレーション初号機



ビビットコンロ



家庭用燃料電池
「エネファーム」



豊洲スマートエネルギー
センター

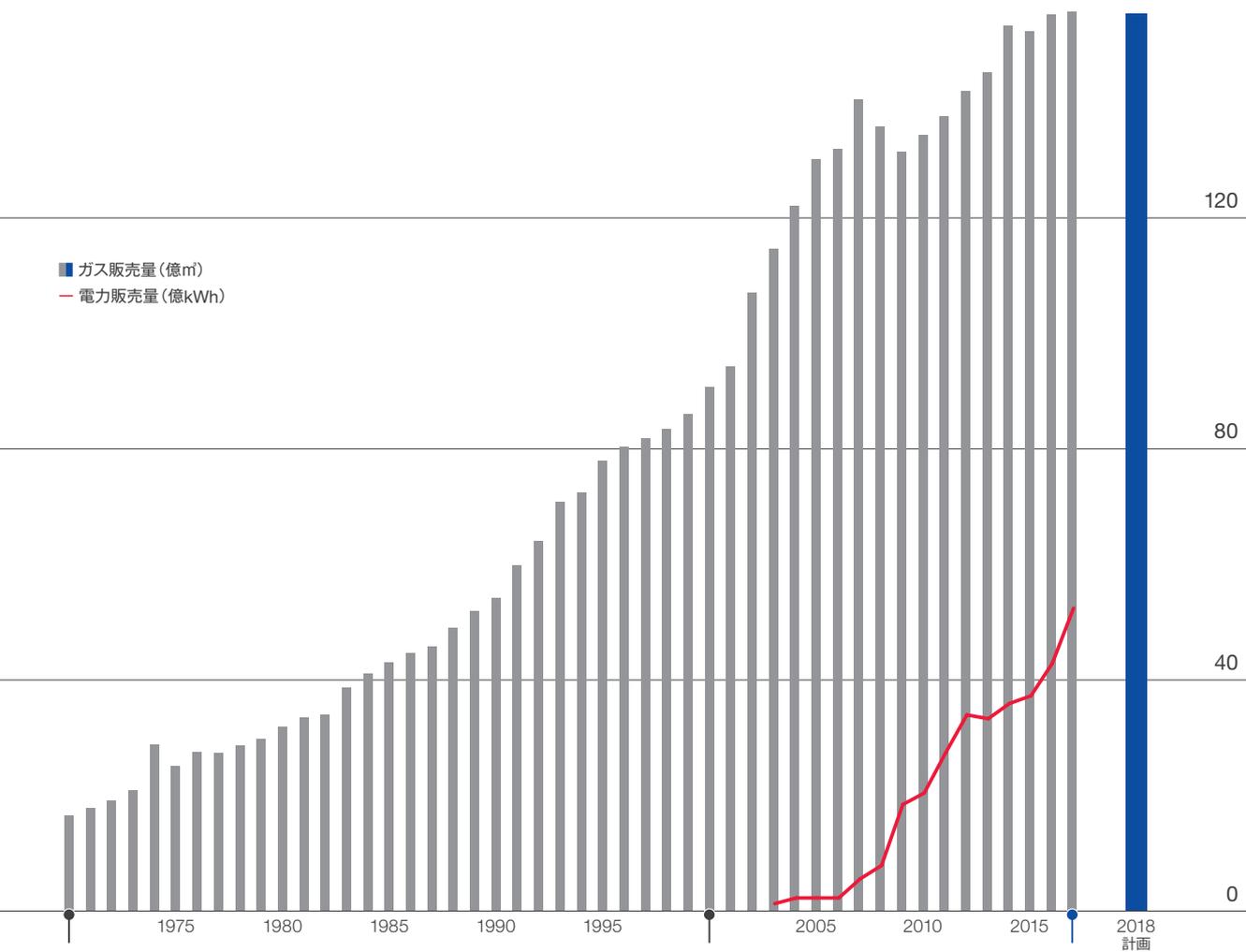


LNG
50周年

(2019年)

億m³
160

■ ガス販売量 (億m³)
— 電力販売量 (億kWh)



4,004千件^{*1}

8,872千件^{*1}

11,678千件

16.6億m³^{*1}

90.8億m³^{*1}

155.7億m³

0億kWh

0億kWh

146.6億kWh

—

16,307人

17,138人

10,258人^{*3}

12,339人

7,862人

1

7

12

23,194km

47,908km

63,557km

0万kW

0万kW

160万kW